

1. 単元名 まとまりに分けて書こう「せつめい書を作ろう」
2. 本時の目標 わかりやすい説明書を書くためには、練習する手順やコツを考えて、小見出しごとに書くことが必要だということが分かり、練習する内容やコツをカードに短い言葉で書くことができる。
3. 本時の評価基準 わかりやすい説明書を書くためには、練習する手順やコツを考えて、小見出しごとに書くことが必要だということが分かり、練習する内容やコツをカードに短い言葉で書いている。
4. 児童の実態
 - 〈学ぶ意欲〉 自分が得意なことをみんなにわかりやすく、上手に伝えたいという意欲を持っている。
 - 〈学ぶ力〉 自分が伝えたいことを短い文章で書くことはできるが、まとまりを考えて書くことや、内容を詳しく書いたりすることができない。また文章化までに時間がかかる。
 - 〈学び得た力〉 自分が説明したいことについて、順序を考えて目次を作っている。
5. 本時の展開(7/13 時) ★「かがやき」コースの特徴

	主な学習活動	研究テーマ具現のための手だて
つ か む	1. 今日の課題 ○ 前時の学習から、今日の課題をつかむ。 「すがたをかえる大豆」の学習で、情報を短い言葉でカードに書いたことを思い出す。 小見出しに合わせて練習の内容やコツをカードに書こう。	〈子どもの実態に応じた学習形態の工夫〉 理解力・表現力の違いから、習熟度別少人数を編成し、実態に応じた効果的な授業を進める。【研究内容Ⅲ③】
	2. 見通し ○ 例文から、箇条書きの書き方を学ぶ。 ○ 書き方のポイントを確認する。(評価項目と同じもの) ① 1枚のカードには1つの内容が書いてあるか。 ② だらだら文になっていないか。 ③ どんな練習をすればよいかわかるか。	〈課題意識を引き出す導入の工夫〉 以前学習した「すがたをかえる大豆」の情報メモを提示し、同じようにカードに大事なことを書き出していく活動であることを理解させる。【研究内容Ⅲ②】
深 め る	3. 自分学び ○ ★実際にやっている様子やその子のお話を聞いて、内容を短い言葉で書くかどうか考える。 ・ 初めにひもをまく。 ・ ひもをまく時に気をつけることは、強くまくこと。 ・ 指でひもを押さえながらまいていく。 ○★ 1つ目の目次についてカードを書く。 ・ さか上がりは、初めにいきおいをつけて地面をける。 ・ 足を思いっきり上に上げる。 ・ わからなくなったから、ビデオを見てみよう。 ○ 書いたら、評価項目をもとに自己チェックをする。	〈課題追究の手だての明確化〉 ・ 例文を提示し、箇条書きカードの書く活動に見通しを持たせる。 ・ 目次に沿って練習のやり方を書き出していけばよいことを押さえる。【研究内容Ⅲ①】
	4. 学び合い交流会 ○★ 共通課題で分けたグループ毎に、ペア交流をし、仲間のよい書きぶりを見つけたり、直すと良いところをアドバイスする。 ・ 鉄棒を下から持つことをほくは書いてないな。 ・ 簡単に書いてあるからわかりやすい。 ・ 2つやることが書いてあるから、2つの文に分けた方がいいよ。 ○ カードを見直し、書き加えたり修正したりする。	〈子どもの実態に応じた指導・援助〉 様子をみながら、個別指導・一斉指導をする。 ◎ どう書いていいかわからない ・ 一人の児童に実際にやってみさせ(こま回し)、どのように書けばよいかみんなで考えさせる。 ◎ 書く内容がわからない ・ “おためしコーナー”で実際にやってみさせる。 ・ 「今どんなことに気をつけてやった?」「どのくらいの手でやった?」などと問うことで、手順やコツに気づかせる。 ◎ 一枚のカードにいくつもの内容を書いている。 ・ 1枚のカードには1つの手順を書くことを再確認させる。【研究内容Ⅳ①】
ま と め る	5. まとめ ○ 本時に学習したことを確認する。 小見出しに合った内容を短い言葉でカードに書くと、説明したいことがわかりやすくなることがわかった。	〈言語能力の高まりを自覚する指導の工夫〉 ・ 学び合い交流会で友だちのカードを読み、評価の観点に沿って的確に評価をするとともに、書きぶりのよさに気づかせる。 ・ 学び合いを生かして推敲させる。【研究内容Ⅳ】
	6. ふりかえり ・ 自己評価を行い、学習の感想を書く。 ・ 教師による評価を行う。 学ぶ意欲: 自分が説明したいことについて、練習の順序やコツを考えて書こうとしている姿。 学ぶ力: 実際にやってみたり、友だちと交流する中で、練習に細かいステップやコツに気づいていて、1枚1文でカードを書いている姿。 学び得た力: 学び合い交流会を通して、友達の書き方の良さに気づき、自分のカードに生かしている姿。	〈言語能力の高まりを自覚する指導の工夫〉 本時の学習を振り返って、分かったこと、深まったことを自覚させる。【研究内容Ⅳ②】
		〈子どもの学びの良さを価値付ける指導の工夫〉 学ぶ意欲・学ぶ力・学び得た力から見た良い姿を価値付ける。【研究内容Ⅳ③】

1. 単元名 まとまりに分けて書こう「せつめい書を作ろう」
2. 本時の目標 わかりやすい説明書を書くためには、練習する手順やコツを考えて、小見出しごとに書くことが必要だということが分かり、練習する内容やコツをカードに短い言葉で書くことができる。
3. 本時の評価基準 わかりやすい説明書を書くためには、練習する手順やコツを考えて、小見出しごとに書くことが必要だということが分かり、練習する内容やコツをカードに短い言葉で書いている。
4. 子どもの実態
 - 〈学ぶ意欲〉 自分が得意なことをみんなにわかりやすく、上手に伝えたいという意欲を持っている。
 - 〈学ぶ力〉 自分が伝えたいことについて表現を工夫しながら書くことができるが、文のまとまりを考えて書くことができず、だらだらと長い文になる。
 - 〈学び得た力〉 自分が説明したいことについて、順序を考えて目次を作っている。
5. 本時の展開（7/13 時） ★ 「はばたき」コースの特徴

	主 な 学 習 活 動	研究内容具現のための手だて
つ か む / 深 め る / ま と め る	1. 今日の課題 ○ 前時の学習から、今日の課題をつかむ。 「すがたをかえる大豆」の学習で、情報を短い言葉でカードに書いたことを思い出す。 小見出しに合わせて練習の内容やコツをカードに書こう。	〈子どもの実態に応じた学習形態の工夫〉 理解力・表現力の違いから、習熟度別少人数を編成し、実態に応じた効果的な授業を進める。【研究内容Ⅲ③】
	2. 見通し ○ 例文から、箇条書きの書き方を学ぶ。 ○ 書き方のポイントを確認する。（評価項目と同じもの） ① 1枚のカードには1つの内容が書いてあるか。 ② だらだら文になっていないか。 ③ どんな練習をすればよいかわかるか。	〈課題意識を引き出す導入の工夫〉 以前学習した「すがたをかえる大豆」の情報メモを提示し、同じようにカードに大事なことを書き出していく活動であることを理解させる。【研究内容Ⅲ②】
	3. 自分学び ○★ 自分が得意なことについて、練習する内容やコツをカードに書く。 ・ さか上がりは、初めにいきおいをつけて地面をける。 ・ 足を思いっきり上に上げる。 ・ わからなくなったから、ビデオを見てみよう。	〈課題追究の手だての明確化〉 ・ 例文を提示し、箇条書きカードの書く活動に見通しを持たせる。 ・ 目次に沿って練習のやり方を書き出していけばよいことを押さえる。【研究内容Ⅲ①】
	○ 書いたら、評価項目をもとに自己チェックをする。 4. 学び合い交流会 ○★ 共通課題で分けたグループ毎に、グループ交流をし、仲間の良い書きぶりを見つけたら、直すところをアドバイスする。 ・ 鉄棒を下から持つことをほくは書いてないな。 ・ 簡単に書いてあるからわかりやすい。 ・ 2つやるのが書いてあるから、2つの文に分けた方がいいよ。	〈子どもの実態に応じた指導・援助〉 ・ 様子をみながら、個別指導をする。 ・ ヒントコーナーを活用させる。 ◎ どう書いていいかわからない、書く内容がわからない ・ “おためしコーナー”（ヒントコーナー）で実際にやってみさせる。 ・ 「今どんなことに気をつけてやった？」と問うことで、手順に気かせる。 ◎ 一枚のカードにいくつもの内容を書いている。 ・ 1枚のカードには1つの手順を書くことを再確認させる。【研究内容Ⅳ①】
	○ カードを見直し、書き加えたり修正したりする。 5. まとめ ○ 本時に学習したことを確認する。 小見出しに合った内容を短い言葉でカードに書いたら、説明したいことがわかりやすくなるのがわかった。	〈言語能力の高まりを自覚する指導の工夫〉 ・ 学び合い交流会で友だちのカードを読み、評価の観点に沿って的確に評価するとともに、書きぶりの良さに気づかせる。 ・ 学び合いを生かして推敲させる。【研究内容Ⅳ②】
	6. ふりかえり ・ 自己評価を行い、学習の感想を書く。 ・ 教師による評価を行う。 学ぶ意欲：自分が説明したいことについて、練習の順序やコツを考えて書こうとしている姿。 学ぶ力：わかりやすい説明書にするためには、1枚1文でカードに書くことが大切だということが分かり、だらだら文に気づき、短い言葉に直して書いている姿。 学び得た力：学び合い交流会を通して、友達の書き方の良さに気づき、自分のカードに生かしている姿。	〈言語能力の高まりを自覚する指導の工夫〉 本時の学習を振り返って、分かったこと、深まったことを自覚させる。【研究内容Ⅳ②】 〈子どもの学びの良さを価値付ける指導の工夫〉 学ぶ意欲・学ぶ力・学び得た力から見た良い姿を価値付ける。【研究内容Ⅳ③】